



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所 大
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 柴山 恒晴
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安西 史朗 (TEL) 06-6571-1221
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,724	0.8	409	0.5	352	△3.3	151	△27.2
24年3月期第2四半期	4,689	△6.4	407	△3.1	364	4.7	208	53.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 131百万円(△18.9%) 24年3月期第2四半期 162百万円(88.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.60	—
24年3月期第2四半期	13.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,211	8,247	47.9
24年3月期	17,895	8,163	45.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,239百万円 24年3月期 8,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,740	3.0	780	△4.3	690	△3.4	340	9.8	21.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	15,876,010株	24年3月期	15,876,010株
25年3月期2Q	60,798株	24年3月期	60,798株
25年3月期2Q	15,815,212株	24年3月期2Q	15,816,418株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に穏やかな回復基調が見られましたが、円高の長期化や欧州債務危機問題による世界経済の減速の懸念が高まり、先行きに不透明感が強まる状況で推移しました。

物流業界においても前期に震災後のサプライチェーンの復旧を受けて、荷動きが大きく回復を果たした以降も小幅な上昇がみられました。ただ、その一方で荷主企業は在庫圧縮、営業倉庫保管量削減の方向に進んでおり、物流合理化の要請がますます激しさを増しております。

このような環境の下、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の営業収益は、47億2千4百万円となり、前年同四半期に比べ3千5百万円(0.8%)の増収となりました。営業原価は39億1千2百万円となり、前年同四半期に比べ3千9百万円(1.0%)増加しました。しかし、販売費及び一般管理費は賃借使用料の減少などで4億2百万円となり、前年同四半期に比べ6百万円(1.6%)減少しました。これにより、営業利益は4億9百万円となり、前年同四半期に比べ2百万円(0.5%)の増益となりました。しかし、持分法による投資利益などの営業外収益が減少したことなどから、経常利益は3億5千2百万円となって、前年同四半期に比べ1千2百万円(3.3%)の減益となりました。特別損失に固定資産の減損損失として5千6百万円、ゴルフ会員権評価損1千5百万円などを計上しましたので、当四半期純利益は1億5千1百万円となり、前年同四半期に比べ5千6百万円(27.2%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(倉庫業)

当第2四半期連結累計期間は、前年同四半期に比べ機械類、食料品などの取扱が堅調に推移し、荷役荷捌料収入が増加しました。しかし、米や電気機械などの荷動きが低迷し、期末在庫も減少して保管料収入の減少要因となりました。この結果、外部顧客に対する営業収益は、ほぼ前年並みの24億2千5百万円となりました。コスト面では人件費や修繕費、減価償却費などが減少しましたのでプラス要因となり、前年同四半期に比べ改善し、8百万円のセグメント損失となりました。

(運送業)

オフィスの移転作業やリネンサプライの配送業務、一時中断していた販売促進用品等の取扱が再開し、前年同四半期に比べ増加したことなどにより、運送料や作業料の収入が増加しました。この結果、外部顧客に対する営業収益は17億1千1百万円となり、前年同四半期に比べ9千3百万円(5.8%)の増収となりました。しかし、コスト面で運送費用や作業費用等が増加しましたので、前年同四半期に比べ1千2百万円(17.5%)の減益となり、5千8百万円のセグメント利益となりました。

(不動産賃貸業)

一部のテナントとの契約切れや料金の改定などの影響により、外部顧客に対する営業収益は4億8千2百万円となって、前年同四半期に比べ5千6百万円(10.4%)の減収となりました。コスト面では減価償却費や租税公課が減少しましたが、前年同四半期に比べ4千万円(10.6%)の減益となり、3億4千1百万円のセグメント利益となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場は、期初において突風によるネットの破損被害が生じ、修理の期間中やむなく休業することとなりました。この影響もあって入場者数が減少し、外部顧客に対する営業収益は1億5百万円となり、前年同四半期に比べ1百万円(1.6%)の減収となりました。しかし、コスト面で人件費や修繕費などが減少しましたので、ほぼ前期並みの1千8百万円のセグメント利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億8千4百万円減少し、172億1千1百万円となりました。これは、流動資産の受取手形及び売掛金が1億4千6百万円、有価証券が2億9千8百万円、固定資産の建物及び構築物が2億3千6百万円減少したことなどによります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億6千8百万円減少し、89億6千3百万円となりました。これは、流動負債の支払手形及び買掛金が7千1百万円、固定負債の長期借入金が6億2千3百万円減少したことなどによります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8千4百万円増加し、82億4千7百万円となりました。これは、剰余金の留保により利益剰余金が1億4百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2千万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,034,342	1,089,011
受取手形及び売掛金	1,016,019	869,434
有価証券	1,286,993	988,149
繰延税金資産	99,943	92,507
その他	58,247	63,215
貸倒引当金	△8,945	△5,692
流動資産合計	3,486,600	3,096,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,560,376	6,324,206
機械装置及び運搬具(純額)	235,356	237,372
工具、器具及び備品(純額)	61,390	58,352
土地	4,913,971	4,913,971
リース資産(純額)	34,275	27,822
有形固定資産合計	11,805,370	11,561,724
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	15,529	15,391
無形固定資産合計	310,819	310,681
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,892	1,830,431
繰延税金資産	89,643	89,104
その他	366,560	343,821
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	2,292,708	2,241,969
固定資産合計	14,408,897	14,114,376
資産合計	17,895,498	17,211,003
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	382,041	310,071
1年内返済予定の長期借入金	1,427,712	1,422,412
未払金	14,201	23,554
リース債務	13,551	13,551
未払法人税等	185,996	151,812
未払消費税等	35,332	34,102
賞与引当金	153,195	152,910
未払費用	238,211	225,338
その他	121,006	111,611
流動負債合計	2,571,248	2,445,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	5,904,406	5,280,850
長期預り金	236,400	236,400
リース債務	22,437	15,661
繰延税金負債	166,118	136,037
退職給付引当金	474,869	482,109
役員退職慰労引当金	125,188	135,397
資産除去債務	31,660	31,856
固定負債合計	7,161,080	6,518,311
負債合計	9,732,328	8,963,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,539,731	2,539,731
資本剰余金	2,314,681	2,314,681
利益剰余金	3,041,450	3,145,876
自己株式	△16,185	△16,185
株主資本合計	7,879,677	7,984,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276,141	255,872
その他の包括利益累計額合計	276,141	255,872
新株予約権	7,350	7,350
純資産合計	8,163,169	8,247,326
負債純資産合計	17,895,498	17,211,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	4,689,343	4,724,847
営業原価	3,873,111	3,912,836
営業総利益	816,232	812,011
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	220,849	220,721
その他	187,610	181,329
販売費及び一般管理費合計	408,460	402,050
営業利益	407,772	409,960
営業外収益		
受取利息	689	633
受取配当金	19,756	17,777
社宅使用料	11,991	11,215
持分法による投資利益	12,409	2,183
その他	21,223	9,728
営業外収益合計	66,072	41,537
営業外費用		
支払利息	92,632	77,364
その他	16,884	21,922
営業外費用合計	109,517	99,286
経常利益	364,327	352,212
特別利益		
投資有価証券売却益	23,692	—
特別利益合計	23,692	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,916
ゴルフ会員権評価損	3,250	15,502
減損損失	—	56,588
特別損失合計	3,250	76,008
税金等調整前四半期純利益	384,770	276,203
法人税、住民税及び事業税	167,143	140,611
法人税等調整額	9,078	△16,293
法人税等合計	176,222	124,317
少数株主損益調整前四半期純利益	208,547	151,886
少数株主利益	—	—
四半期純利益	208,547	151,886

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,547	151,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,268	△20,802
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	533
その他の包括利益合計	△46,275	△20,269
四半期包括利益	162,271	131,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,271	131,617
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	倉庫業	運送業	不動産 賃貸業	その他の 事業	計		
営業収益							
外部顧客に対する営業 収益	2,425,313	1,618,141	538,615	107,273	4,689,343	—	4,689,343
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	24,642	752,504	83,418	23,283	883,848	△883,848	—
計	2,449,955	2,370,645	622,034	130,556	5,573,192	△883,848	4,689,343
セグメント利益又は損失 (△)	△64,202	70,916	381,890	19,168	407,772	—	407,772

(注)1 調整額883,848千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益に一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	倉庫業	運送業	不動産 賃貸業	その他の 事業	計		
営業収益							
外部顧客に対する営業 収益	2,425,576	1,711,226	482,460	105,584	4,724,847	—	4,724,847
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	21,532	772,831	83,622	23,283	901,269	△901,269	—
計	2,447,109	2,484,058	566,083	128,867	5,626,117	△901,269	4,724,847
セグメント利益又は損失 (△)	△8,826	58,505	341,438	18,844	409,960	—	409,960

(注)1 調整額901,269千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益に一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「不動産賃貸業」セグメントにおいて、一部倉庫設備の建替えの計画案が決定されたことに伴い、除却する固定資産については帳簿価額を全額減額とし、当該減少額と既存建物等の解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において56,588千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響額は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。